

科目名	労働経済論	科目コード	1411	単位数	2
担当者名	川村 雅則	開講セメスター	第3セメスター	開講年次	2年次
授業の方法	講義	実務経験	無		

● 授業のねらい

この授業では、各種の労働問題（失業・非正規雇用、長時間・過密労働、男女格差・性差別、ワーキングプアなど）を取り上げ、その背景や解決策（労働政策、労使関係）を考えます。その際、歴史的な視野と国際比較の観点をもった深い理解を心がけます。講義のほか、グループでの作業にも取り組みます。

● 到達目標

- ・わが国の雇用・労働、生活問題の実態を正しくつかめます。その際、統計情報を正しく読み解く力を身につけます。
- ・問題が起きる背景や問題の解決策について解を探します。歴史的な視野と国際比較の観点を身につけます。
- ・学んだことを口頭や文書で整理し、他人に伝えられる力を身につけます。
- ・調査活動やレポート作成などに協力して取り組むことができる力を身につけます。

● 授業内容

- 1週目 学生アルバイトから考える労働問題
- 2週目 雇用・失業1(総論)
- 3週目 雇用・失業2(日本の雇用の解体)
- 4週目 不安定雇用1(総論)
- 5週目 不安定雇用2(派遣・請負)
- 6週目 不安定雇用3 (官製ワーキングプア)
- 7週目 労働時間・労働過程1(長時間・過密労働)
- 8週目 労働時間・労働過程2(過労死・過労自殺)
- 9週目 女性労働1(男女雇用機会均等法制定以前)
- 10週目 女性労働2(制定以後)
- 11週目 賃金問題
- 12週目 労働法・労働政策1 (総論)
- 13週目 労働法・労働政策2 (働き方改革)
- 14週目 労使関係1 (総論)
- 15週目 労使関係2 (日本型労使関係)
- 16週目 まとめ、グループ課題の発表と講評。

● 準備学習(予習・復習)等の内容

- ・各週2時間の予習・復習を行うこと。
- ・予習：次回の授業内容に即して指示された資料を熟読しておくこと。
- ・復習：各回の授業で学んだことと課題をまとめ、提出してもらいます。

● 成績評価の方法・基準

・成績は、毎回の授業に対する提出課題（70％）とグループ課題（30％）で評価します。グループ課題とは、4,5人で班をつかって行う作業（調査、レポートの作成など）です。詳細は第1回目の講義で説明します。

● 履修上の留意点

- ・遅刻・欠席は厳禁です。
- ・私語や遅刻・欠席で注意を受け、その後改善しない者は、不合格となることがあるので十分注意してください。

● 課題に対するフィードバックの方法

提出されたレポートから幾つかを取り上げ、授業内でコメントします。

● テキスト

特になし。レジュメ・資料はこちらで準備します。

● 参考書

- ・森岡孝二『雇用身分社会』岩波書店、2015年
- ・濱口桂一郎『新しい労働社会 雇用システムの再構築へ』岩波書店、2009年

● 更新日付

2020/01/29 09:14